

あつぎ郷土博物館NEWS6月号

展示
準備中

企画展 デビュー100年「和田 傳」再発見
—今 ^{よみがえ}甦る あつぎの明治・大正・昭和を生きた作家の真実—

資料から甦る和田と厚木の姿

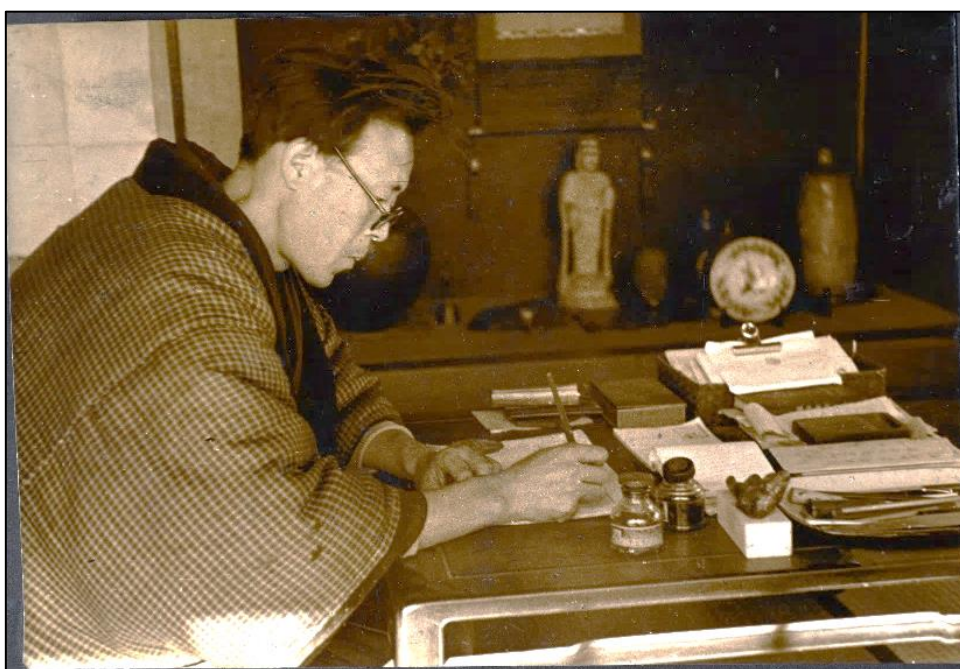
あつぎ郷土博物館は、本年度をもって開館5周年を迎えます。皆さまのご来館に感謝するとともに、5周年記念展示を企画しています。その第一弾として郷土の作家「和田 傳」の展示会を準備中です。

和田傳は明治33年(1900)1月

17日、愛甲郡南毛利村恩名(現厚木市恩名)に由緒ある地主の長男として生まれました。南毛利小学校から県立厚木中学校(現県立厚木高等学校)、早稲田大学へと進み、大学卒業の大正12年(1923)7月、「山の奥へ」が『早稲田文学』に掲載され文壇デビューを果たします。今からちょうど100年前のことです。

その後の活躍、詳細は展示会でご覧いただくとして、和田家と和田に関する資料のほとんど、約8,000点を所蔵するのが、あつぎ郷土博物館です。和田家が所有した膨大な古文書は、平成12年(2000)に「和田傳生誕100年記念 和田家の文書—歴史を伝える資料—」という展示会でご覧いただいておりますが、この度は和田本人に関する資料を中心とした展示になります。

和田がいかに生き、何を考え、何を著したのか、一緒に考えていただく機会になればと、目下準備を進めています。どうぞ、楽しみにお持ちください。



- 会 期：令和5年7月22日(土)～9月18日(月・祝)まで
- 入館料：無 料

文化財保護課(博物館) 6月の予定

日	曜日	行事内容	講師等	時間	
博物館が一つの地域に取り組む「依知地域展」開催中(25日まで) *6月4、11、18、25日は14時から、日曜ギャラリートーク実施!					
NEW	3	土	「厚木の野鍛冶」上映、解説 参加自由	当館学芸員	14:00 ～14:30
NEW	8	木	あつぎの古文書解読会 参加自由	古文書解読会	13:00 ～16:00
	10	土	収蔵資料から逸品紹介 参加自由	当館学芸員	14:00 ～14:30
	15	木	あつぎの古文書解読会 参加自由	古文書解読会	13:00 ～16:00
	22	木	あつぎの古文書学習会 参加自由	古文書解読会	13:00 ～16:00
NEW	24	土	ワークショップ 和綴本を作る 参加自由	当館学芸員	14:00 ～15:00
	26	月	休館日		

古民家岸邸の七夕

場所：上荻野 792 番地 2

時間：10:00～17:00

*令和5年6月28日から7月17日まで!

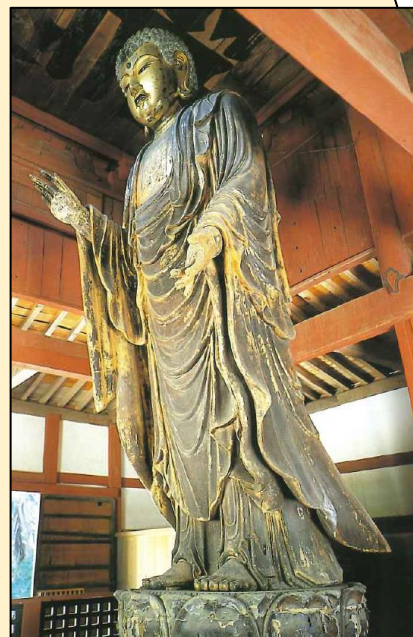
厚木の指定
文化財④

● 妙傳寺 木造釈迦如来立像

妙傳寺には江戸中期刊行の『和漢三才図会』に「妙傳寺〈中略〉丈六ノ釈迦像有リ」と紹介された神奈川県最大級の近世仏が鎮座します。一丈六尺、つまり534cmで、これは八尺とされた人間の2倍の大きさとされています(少し大きすぎ?)。寄木造、表面に漆箔を施し、優れたまとまりをみせる大像。右手は施無畏(せむい)、左手は与願印(よがん)、不安を除き、願いを叶えてくれます。宗風彫刻の特色を示し、人間くさい面相、長い袖をやや後ろへ流した着衣ですが、偏袒右肩(へんだんうけん)といい、元々はインドの着衣の形で、弟子が先生の話を聞くときの恰好です。

釈迦如来立像は、山門の毘沙門天、持国天の二天像、星下りの梅樹などとともに上依知の妙傳寺で拝観することができます。

【アクセス】厚木バスセンターから、神奈中バス 相模原駅、猿ヶ島、小沢行きバス 「上依知」下車徒歩5分。上依知 2397



- あつぎ郷土博物館 開館時間 午前9時から午後5時まで(入館は午後4時30分まで)
休館日 毎月最終月曜日 年末年始(12/29～1/3)
- 古民家岸邸 開館時間 午前10時から午後5時まで(入館は午後4時30分まで)
休館日 月曜日と火曜日(祝日の場合は翌平日) 12/25～1/3



(申込み・問合せ) あつぎ郷土博物館
〒243-0206 厚木市下川入1366-4 電話 046-225-2515
Mail 8650-3@city.atsugi.kanagawa.jp FAX 046-246-3005